

	北波多小学校 学校だより12号	<h1>北波多小だより</h1>	令和7年7月1日発行 文責 校長 川原 悟
---	--------------------	------------------	--------------------------

体験を通して広がる世界！

先月24日(火)には、2つの貴重な体験活動を行いました。一つは、北波多にある製茶工場への見学、もう一つは、車椅子バスケットボール体験です。どちらも子供たちにとっては、心に残る大切な学びになりました。

製茶工場には、3・4年生が見学へ行き、北波多で収穫できるお茶がどのようにして作られるのか五感を使って学びました。お茶の葉の香りや出来立てのお茶の味などに触れたことで、多くの疑問が湧き、たくさんの質問が出されていました。地元産業への関心を高め、その大切さを考える機会になったようです。

車椅子バスケットボール体験は、5年生が行いました。車椅子の操作の難しさ、仲間と協力してプレーする楽しさを体感しました。だからこそ、実際にプレーする人たちがいかに努力や工夫をしているのかを実感することができたと思います。汗だくになりながら試合も楽しんでいました。

このような体験学習により、興味や関心を高めるだけでなく、心を動かされたのではないかと思います。そして、これまでの自分の見方や考え方を広げ、自分を成長させる、自分の心を豊かにするものに繋がったと感じています。



平和についての学びをこれからの生活へ！

今年で終戦から80年を迎えます。戦争を体験した方も少なくなり、戦争を知らない世代が増えているのが現状です。しかし、決して風化させることなく、戦争の悲惨さや平和の尊さを将来にわたって私たちは語り継がなければなりません。

先週は、平和集会を行いました。学年に応じて平和について学習したことを発表し、これからに向けて誓いの言葉を全校で伝え合いました。学年発表や誓いの言葉から、どの学年も良い学びをしていたことが伝わりました。だからこそ、その学びを無駄にすることなく、言葉や行動に移すことが大切であることを子供たちには伝えました。

一人一人が身近なところから始めていくことが「笑顔と思いやりがあふれる学校」の実現に繋がると信じています。

